

2024年8月

からし種

カトリック片瀬教会



平和のために祈りましょう

ブランチフィールド神父

7月22日

ただいま休みから帰ってきて、元気な自分で神様に感謝しております。

暦を見ますと、平和旬間が近づいています。平和のために祈りながら、広島と長崎で、また戦争で犠牲になった多くの人々のために祈る時です。

今年は現世界の状態を考えて、とくに平和の恵みを祈りたい。

つきまして8月9日(金)の9時30分のミサ後、ご聖体を祭壇の上に捧げて、12時まで祈りと礼拝の時を設けたいと思います。このために、みなさんの中からご聖体の前で必ず15分か30分祈る人をお願いしたい。もちろん大勢の人がご聖体の前に残ってほしいですが、万が一に誰もいないことがないように、約束できる人を募集します。12時になったらご聖体の祝福をもらって終了いたします。

今後、希望者のために玄関に表を貼ってもらいたいと思います。

以上の祈りの仕方は、カトリックの世界によくあります。それは、ご聖体の中におられるイエスの現存に対して、私たちの心と関心を深める祈りです。

ぜひとも、みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

2024年 8月度 教会委員会報告

開催日時：2024年7月21日(日) 11時30分～13時30分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、副委員長、財務、会計監査、典礼、総務、宣教司牧、福)、教会学校、中高大青会、一粒会、シャルル聖^パカ修道会女片瀬修道院)、聖母訪問会

ブランチ神父のお話し

私が不在のうちに留守番等色々有難うございました。これから年の後半を手を組んで、誰もおろそかにしないよう頑張りましょう。

全体の報告および連絡事項

1. 池尾委員長より6月23日の第5地区共同宣教司牧委員会の報告があった。

主な内容は、

- 1) 委員会をシノドス的な内容にしてみる。
- 2) 「祈りの力を育てる部門」よりレクチオ・ディヴィナを有効に使ってほしい。
- 3) 9月8日に片瀬教会より、中和田教会へ司祭を派遣する(片瀬は集会祭儀とする)。

2. カトリック平和旬間(8月6～15日)の取り組み

- ・祈りのリレーを行う。リレーの表を掲示する。
- ・8月9日(金)9時半ミサ後、12時頃迄 聖体顕示を行う。礼拝のための表を出す。聖体顕示の意味を理解してもらうため、司祭から7月28日のお知らせや金曜ミサの時に話をしてもらう。

3. 8月15日(木)聖母の被昇天の祝日

- ・17:00～ マリア像の前で、野外ミサ(雨天の場合は聖堂)
- ・ミサ後、昨年計画(昨年は台風のため中止)に準じて「平和の祭り」と称する懇親会を行う。まりあ食堂にも声をかける。内容は、Aさん、MTさん、MIさん、IIさん、MAさん、IKさんでベースを作成。
- ・マリア像に飾りつけをする。(花飾り、イルミネーション等)

各部会からの報告

総務部

- ・司祭留守中にシスターも含め多くの方々に電話番をして頂き感謝。
- ・暑中見舞いを出したが、教会に来られていないと想定できる方々のリストをコミュニティ毎に配るので、訪問や「からし種」ポスティング等してほしい。

典礼部

7月14日の集会祭儀は色々な方々の協力で行うことができた。鍛冶ヶ谷教会からも協力を得、解説DVD等を貸して頂いた。

宣教司牧部

7月に2回、東京から合わせて4～50名の見学があり、教会に来たらまず聖堂に座って沈黙で味わうということを行っていたが、私たちが気づかない所に目が行って色々なことを聞かれ、良い経験になった。

福祉部

7月13日に藤沢教会で第5地区及び近隣教会の福祉交流会があり、片瀬教会から1名出席。「つなぐ、つながる」をテーマに分ち合いが行われた。

教会学校

8月1～3日 第5地区教会学校サマーキャンプを横浜の聖光学院で行うが、片瀬からは4名の子どもとリーダー2名が参加する。

中高大青会

8月10～12日の雪ノ下教会の教会学校が片瀬教会で合宿することに伴い、11日に交流会を行う。

一粒会

10月14日 長野県の松本教会で行われる横浜司教区一粒会大会に池尾委員長が出席する
が、他に参加希望があれば、7月末迄に池尾委員長に連絡のこと。

営繕

司祭館2階の出窓修理は、そっくり入替だと93万円ほどかかるが、窓枠だけサッシに入れ替えだと35万円程度となるので、窓枠だけ入替工事としたい。⇒承認

シャルトル聖パウロ修道会 片瀬修道院

7月18日、ルワンダのガテラさんとマミさんお二人が、義足が必要な人達のための工房を始め、そのお話しを伺った。来年も来日される予定なので、片瀬教会でもお話しを伺う機会を作ってはどうか。

聖母訪問会 モンタナ修道院

現在、建物を解体して平屋に立て直す工事を進めている。来年の冬に完成予定。用がある方は、右手の第2修道院に来てください。

□ 検討・決定事項

1. 今年末の教会委員改選に当たり、正副委員長で検討した組織改編案(別紙)を提示。次回9月度教会委員会にて議論しどうするか決めるので各委員は、内容を検討すること。
2. 転入の方々の紹介がないので行うようにする。温かくこの教会に迎え入れたい。この時、コミュニティをはっきりさせる。また、カフェを活用し「ウェルカム会」を行ったら良い
3. 司祭館2階のサンルームと食堂にエアコンがないので付けたら良いのではないかと意見が出たが、司祭が固辞するのでペンディングとなった。

第5地区「一粒会 祈りのリレー」

一粒会委員 飯塚京子 池尾昇治

横浜教区神奈川第5地区(大船・藤沢・鍛冶ヶ谷・戸塚・原宿・中和田・片瀬教会)では、毎月、『召し出しを求める祈りのリレー』を行なっています。

これは、第5地区の中で、各教会が順番に一ヶ月の間、召し出しのために祈り、7つの教会を祈りで繋いでいくものです。

今年も、5月から11月まで行われます。片瀬教会の担当は10月ですが、他の教会の共同祈願で行われる祈りを紹介致します。

5月 召し出しを求める祈り 大船教会

『主よ 困難や悩み、不安が多い世の中にあって、私たちを教え導く司祭、修道者の召し出しのお恵みをお与えください。』

私たち一人ひとりも、あなたの招きに応え、それぞれが置かれた中で、その使命を果たして行くことができますように。』

6月 召し出しを求める祈り 鍛冶ヶ谷教会

『司祭、修道者の召命のために祈ります。』

これまで多くの司祭、修道者の召命に私たちが応える事ができたように、これからも、召命の種を私たちの上に蒔いて頂き、新たな芽が出てくる事を待ち望みながら、祈りを捧げて行く事ができますように。』

第5地区は、まだ各教会に司祭がいるという恵まれた状況ですが、他地区、とりわけ長野、静岡、神奈川県内でも、第1、3、4、6、と7地区中4地区が司祭兼任の状態です。中には、3教会を掛け持ちしておられる司祭もいます。司祭、修道者が減っていく中、将来私たちが迷える羊になっていってしまわない様、神様にお祈りしましょう。

信徒・修道者・司祭がともに信仰を分かち合う交流会

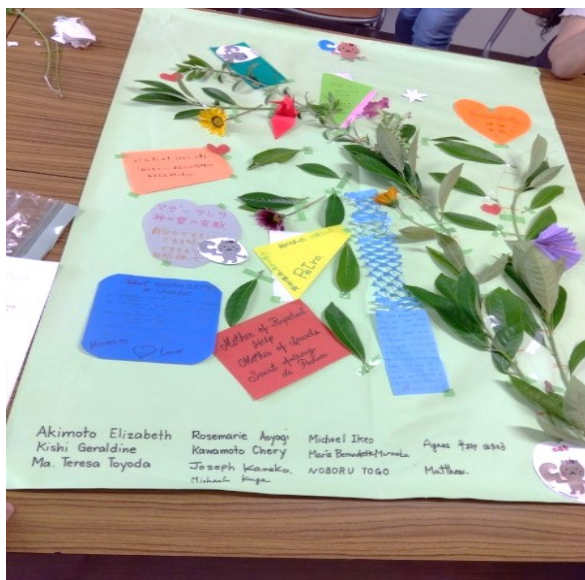
池尾昇治

6月29日(土)の午後、共同宣教司牧サポートチーム神奈川主催の三者交流会が平塚教会で開かれました。テーマは「好きな聖人、または聖書の登場人物(イエス以外)」。参加者はスタッフ含め約70名。オリエンテーションの後、6つのグループに分かれテーマの分かち合いを行いました。

私が参加したグループは12人でしたが、5人はフィリピンの人たちでちょっと国際色がありました。一人ずつ自分の推しの聖人や聖書の登場人物を色々な思いで紹介したのですが、人それぞれ、たくさんの聖人がでてきて話しが面白く盛り上がりました。そして聖人の名前を色紙に書き台紙に貼り付けて最後の全体の分かち合いに展示しました。七夕が近かったので色紙を短冊に見立てようということになり、誰かが教会のどこからか木の枝を失敬してくるとフィリピンの人たちのノリで楽しく台紙を作ることができました。

グループ分かち合いの後にミサを行ったのですが、御聖体は秦野教会で作った直径30cmくらいのパンで、それを神父様が割ってまさしく「食事の終わりにパンを取り、割いて弟子たちにお与えになった」ことの体験をさせて頂きました。最後は全体の分かち合いでしたが、久しぶりに会った人とも初めての人たちとも楽しく会話することができ豊かな気持ちで終わることができました。帰路でも一緒になった人たちと分かち合いの続きをしていました。

次回の交流会は秋にあり、ちょっと遠いのですが甲府教会であります。藤沢にいらした芹沢神父様がいらっしゃる教会ということもありまた行きたいなという気持ちです。お薦めの交流会です。



第5地区共同宣教司牧と集会祭儀

池尾昇治

7月14日に集会祭儀を行いました。滞りなく済ましたのも典礼部はじめ奉仕に携わった方々のお陰です、感謝いたします。本当に久しぶりだそうでほとんどの方は以前やったことを知らないか覚えておられないようです。

この集会祭儀は、今後定期的に行われそうです。というのも、今春、中和田教会の神父様が病に倒れて現在療養中のため、6月23日の第5地区共同宣教司牧委員会で、中和田教会を支援するため、各教会から司祭を派遣しようということになりました。中和田には、第4、5主日を集会祭儀にしてもらい、藤沢教会は助祭がいるので、第3主日を担当、第1、2主日を他の、戸塚、原宿、鍛冶ヶ谷、大船、片瀬で担当します。片瀬は、9月第2主日の担当となりましたので、この日は集会祭儀となります。昨年、ブランチ神父が帰国時、戸塚、原宿が片瀬のために司祭を派遣して下さり、自分達は集会祭儀をしていました。これからは私たちも喜んで自分を犠牲にして隣の小教区を助けることが出来ますように。

今年のカトリック平和旬間

池尾昇治

8月度教会委員会で、今年の平和旬間における片瀬教会の取り組みを決めました。平和旬間は、8月6～15日迄の10日間ですが、その間に行うことは、

1. 祈りのリレー

私たちの平和への願いを祈りでつないでいきます。期間中お祈りをして頂く日時を表に記入して頂きます。同じ時間帯に複数の方がいらしても結構です。祈りがつながるよう参加をお願いします。

2. 8月9日(金)9時半のミサ後、聖体顕示を行います。その前に神父が

皆さんに意味を理解して頂くようお知らせ時等で話をします。

表を作って、この時間帯には誰かが聖体礼拝をしているということになります。

3. 8月15日は平和旬間最終日であると共に、聖母の被昇天の祝日であり

終戦記念日でもあります。

17時からマリア像の前で野外ミサを行い、その後「平和の祭り」として、私たち信徒間の平和のために懇親会を行います。多くの方の参加をお待ちしています。内容は別途お知らせします。

これらの活動を通して私たちの平和を願う気持ちが天に届きますように。

「テゼの祈り」～聖メナスと共に～

小泉英子



7月9日(火)午後7時より、片瀬教会にて「テゼの祈り」が開催されました。

いつもの祭壇の前に置かれた、イコン「キリストと聖メナス」。ロウソクを灯すところから・・・「祈り」は始まりました。「夏」と言えば、日本人の誰もが戦争の悲惨さを改めて思い起こしますが、今回は特に世界の各地での紛争を思い、心をつ一つにして「世界平和」を祈り、願いました。

イコン「キリストと聖メナス」は、テゼ共同体の創設者ブラザー・ロジェが特に愛したもので、テゼの祈りの集いでは、シンボルとして毎回用いられます。

「聖メナス」は、キリスト教徒の両親のもと、エジプトに生まれました。両親亡き後、ローマ軍の兵士となりますが、ディオクレティアヌス帝によるキリスト教徒弾圧により軍を離脱して、荒野で宗教的な生活を送ります。神様からの啓示を受け、使命を悟ったメナスは、故郷の遺産を救貧に費やすよう遺言し、自らキリスト教徒であることを公言し斬首され死体は焚かれます。しかし、死体は灰とならず、元の形のまま光り輝いていたそうです。

イコンの「聖メナス」は、キリストの隣に立ち、キリストは右手をメナスの肩の上に置いています。背景は、橙色に輝いています。キリストとメナスは同時代に生きたわけではありませんが、メナスのその時代・信仰の闇の中にキリストが隣にいて、闇のその先にある希望の道を正に教えているようです。

このイコンのように、キリストはいつも私達の隣にいて、肩に手を置いて下さり、進むべき道を光で導いてくださっていると感じます。そして、世界の兄弟姉妹たちとも肩を組み「互いに愛し合いなさい」(ヨハネ 15・17)と語りかけてくださっているように思えます。約 20 名が集い「平和」について祈り・沈黙したひと時でした。司会者の方が、この「テゼの祈り」をかつて片瀬教会で開催することに大変協力して下さったマリオ神父さまの 88 歳のお誕生日が 7月 17 日と近いことを告げてくださり、そのことも共に祈りました。(「テゼの祈り」については、「からし種 1月号」7ページにも記載しています。)



平和を祈る

池尾昇治

8月となると、夏休みということでウキウキな気分になる方が多いと思いますが、一方でこの時期、日本に生まれ育った身としては広島、長崎への原爆投下の記憶が何かしら心の中に影を落とすのではないのでしょうか。今年も6日から15日までカトリック平和旬間が開かれます。1981年2月に教皇ヨハネ・パウロ二世が広島を訪れ「過去を振り返ることは、将来に対する責任を負うことである」と述べ、これを受けて翌1982年から始まりました。この間、ともに平和を祈り、平和を考え、平和について語り、平和のための行動をする機会になることを願われています。

私たちにできることは、まず祈ることでしょう。祈りは大事です。祈る時に思い描いて頂きたいことがあります。それは、人が命を取られているということです。ウクライナにしてもガザにしても報道では、「〇〇人が殺害された」という表現で伝わります。しかし、現実には数字ではありません。ちゃんと名前があり、普通に生活していた私たちと同じ人間が殺されたということです。沖縄の「平和の礎」を思い描いてください。もし、その人の名前を知っていたら、顔を見ていたら、それでも自分には関係のない遠くの国の出来事としか感じないのでしょうか。

藤沢では、平和旬間にさきがけ、8月3日(土)14:00～ 平和のための合同祈禱会が日本基督教団辻堂教会で開かれます。キリストを信じる全ての人が心を合わせて祈ります。皆で行きましょう、そして祈りましょう、平和な世の中が訪れますように。

ルルド、カタルーニャ、バルセロナ巡礼

川崎真理子

昨年10月、私はマリオ山野内倫昭埼玉司教様をリーダーに日本全国の教会からいらした23名のメンバーと共にフランス、スペインの祈りの旅に出ました。山野内司教様は大分生まれのアルゼンチン育ちでいらっしゃるので、スペイン語が堪能です。バスの運転手さんと和やかに話し、日本で就業を希望する若いスペイン人ガイドさんの人生相談にも答えていらっしゃいました。

羽田出発時、フランクフルト行きが大幅に遅れ、乗換のトゥールーズ行の便もストライキで動かず、大変な船出でした。夜中にトゥールーズのマリオットホテルに着き、朝食の時大きなル・クルーゼのお鍋が沢山並んでいて、フランスに来た実感がありました。コロナ後でバスの手配も大変そうでした。車中では聖歌を歌い、祈りました。2時間のバスの旅でルルドに到着。美しい町で驚きました。午後ベルナデッタの肖像のある小聖

堂でミサに与りました。熊本からいらしたご夫妻はご主人が医師なのでルルドでの病気の治癒に関しエビデンスが欲しいと言われました。

次の日はグロットでミサがあり私は第一朗読を担当。午後にはルルドのお水を頂き、手と顔をルルドのお水で洗いました。ルルドには病院があり、ナースが車椅子を押して大聖堂まで来るのですが着こなしが上手。フランス人女性はお洒落と実感。3日目は午後にピレネー山脈を越えてスペインのビエリャに。石造りの素朴な教会に精巧な鉄の飾りがあり、温かな表情の木彫のキリストの御像があります。4日目はボイ溪谷の初期ロマネスク教会群に。サンタマリア教会にてミサ。5日目はアンドラ公国とセオデオウルヘルに。セウドウルジェイ司教座聖堂にてミサ。

6日目はカルドーナの聖ミカエル教会にてミサ。カルドーナは要塞であり、高い山にそびえ立ち。お城のようなパラッツォに泊まりました。聖ミカエル教会にてミサ。7日目は聖イグナチオを祈りを捧げた洞窟に、高山右近の天井画もありました。次にモンセラート修道院に。黒いマリア様と対面。聖母マリアを讃える祈りの少年合唱団のCDを求めました。グレゴリオ聖歌の指導者を多く輩出した所だそうです。露店で美味しいヤギのチーズや蜂蜜を販売していました。8日目コロニアグエルの地下聖堂に、未完成ながら聖堂にはガウディがデザインした椅子等の家具が並ぶ。聖堂の中央には4本の玄武岩の柱が並び、薄いレンガ3枚を交互に置く事で作った面、カタルーニャボールドと床版、そしてスラブは全てレンガで、迫力のある特別な室内を構成している。カタルーニャボールドで作った天井の曲面は手が込んでいて、ガウディらしい。レンガの曲線や細かくタイルを張った曲線に囲まれた、まるで、鯨のお腹にいるような凄い建築物に在る御像はマリア様もイエズス様も懐かしい、優しいお顔をしています。

アルファやオメガの模様は、トレンカディス、セラミックの破片でモザイク状に貼り付ける手法で壁や天井を彩っています。ステンドグラスの窓は色が美しいので模写しようとしたのですが、単純なように見えて、実は地模様が入り組み、三原色で構成されているかと思いきや混色あり、グラデーションありでなかなか難しいのです。

その後バルセロナにあるカタルーニャ美術館に行き、カタルーニャのロマネスク教会の御像や壁画に再会。教会にある木彫りのマリア様はぎろりとわたしをにらみます。私も見つめ返します。壁画や御絵は色鮮やかで荘厳なのに表情が愛らしくて嬉しかったです。

木彫りの優しいキリスト像は私を元気にしました。

その後サグラダ・ファミリア教会へ。ユネスコの世界遺産に登録された誕生のファサードには、サグラダ・ファミリア聖教会のテーマ、希望、慈愛、信仰が彫刻で表現され、集約されていました。教会の天井は孫弟子により完成され、天に届く如く高さ60mの天

井を支えるのは大木のような柱。光が差し込むように屋根にはトップライトが付けられ、金色の光が降り注いでいました。三原色の硝子を重ねて作ったステンドグラスは途方もなく明るく、地中海の明るさを映しているようでした。バルダキーノ、祭壇上に下げられた天蓋の下にオレンジ色の小さな明かりが沢山吊り下げられ、司教様を明るく照らし、お声が届きやすいようにとの配慮が感じられました。主聖堂見学後、ガウディのお墓のある地下聖堂でミサに与りました。

出発前には想像できなかったのですが、ロマネスク様式の教会には寛容で素朴で受容する大らかさがあります。ピレネー山脈麓の美しい自然の中で自由に草を食む動物達を眺めたり、教会を巡り木彫りのキリスト像やマリア像に向かって祈り、ミサに与る中で心身共に回復しました。私が参加した巡礼の実は、心の中にあつた冷たいものが溶け、笑えるようになった事です。困難に立ち向かい目前の問題を解決しながら前進する力も与えられた事でした。片瀬教会でミサに与る時も巡礼で一緒した方々と共に祈っていると感じます。

巡礼で一緒した木村さんからラインで司教様のお歌を頂き、何時も聴いています。皆様にもルルド、カタルーニャ、バルセロナの巡礼をお勧めいたします。巡礼の間その後も病気続きで、長い間売店を守ってくださった旭さん、長野さん、ガーデニングメンバーの皆様、神父様はじめ何時も教会を守って下さる皆様に感謝いたします。



2024年8月

☆教皇の意向：政治におけるリーダー

政治におけるリーダーが、人々への奉仕において、人類として不可欠な成長と公益のために働き、職を失った人々に配慮し、貧しい人々を優先することができますように。

☆日本の教会の意向：世界の平和

憎しみや敵対心によって人の命を奪い合い傷つけ合うことを終わらせ、世界が平和への歩みを始めることができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予定

曜日	典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
8/1 木	聖アルフォンソ（リゴリ）司教教会博士 記		↑ 第5地区教会学校サマーキャンプ まりあ食堂
2 金		9:30	
3 土			↓ 平和のための合同祈禱会 14:00 於：日本基督教団辻堂教会
4 日	年間第18主日	8:00 10:00	
5 月			
6 火	主の変容 祝		カトリック平和旬間(15日迄)
7 水			
8 木	聖ドミニコ司祭 記		
9 金		9:30	ミサ後、聖体顯示
10 土	聖ラウレンチオ助祭殉教者 祝		↑ 雪ノ下教会中高生会合宿
11 日	年間第19主日	8:00 10:00	
12 月			↓
13 火			
14 水	聖マキシミアノ・マリア・コルベ司祭殉教者 記		
15 木	⊕ 聖母の被昇天	17:00	ミサ後「平和の祭り」懇親会
16 金		9:30	
17 土			
18 日	年間第20主日	8:00 10:00	9月度教会委員会
19 月			
20 火	聖ベルナルド修道院長教会博士 記		
21 水	聖ピオ10世教皇 記		
22 木	天の元后聖マリア 記		
23 金		9:30	
24 土	聖パルトロマイ使徒 祝		
25 日	年間第21主日	8:00 10:00	
26 月			
27 火	聖モニカ 記		
28 水	聖アウグスチヌス司教教会博士 記		
29 木	洗礼者聖ヨハネの殉教 記		
30 金		9:30	
31 土			

◆お知らせ◆

8月3日(土)午後2時より3時まで、市内キリスト教連絡会主催の「平和のための合同祈祷会」が、日本基督教団辻堂教会で開催されます。参加自由ですので、多くの方に参加をお願いします。



2024年8月号

発行 カトリック片瀬教会
〒251-0035 藤沢市片瀬海岸2-2-35
TEL/FAX 0466-22-4646
<https://www.catholickatasechurch.com>